
NPO 法人 大杉谷自然学校 ボランティアスタッフの心得

◆ 大杉谷自然学校の自然体験プログラムの意義

大杉谷地域は、一部を吉野熊野国立公園に、全体を大台ヶ原・大峰山・大杉谷ユネスコエコパークに含まれる自然豊かな地域で、平成13年から急速に失われつつある「地域の自然観や価値観」を次世代に伝える役割を担い「持続可能な新しい社会の創造」に寄与することを目指し、活動しています。

◆ ボランティアスタッフとしての姿勢

ボランティアスタッフは子ども達が積極的で安全に、なおかつ楽しく活動を行えるように手助けする存在です。ある時は子どもと同じ参加者の視線で活動し、感動などを分かち合い、ある時は大人として子ども達を叱り、指導する場面も出てくるでしょう。また、危険を伴い経験や知識が必要な活動では子ども達に教えたり、子ども達の自主的な行動を見守ったりすることもあるでしょう。

ボランティアスタッフには自らが主体的に子どもと関わりながら、規範づくりや積極性を生み出し統率するリーダー的役割と、活動を促進する2つの役割があります。子ども達と関わる時には、自分の固定観念だけで物事を決めないように心がけましょう。他のスタッフや地域の方と関わる時も同じです。

子どもたちと自然の中で過ごす期間は、自らも自然と人、人と人との関わりの中から学び成長する貴重な機会です。

◆ スタッフの役割

- ・ディレクター : プログラムの企画・準備・運営・責任者
- ・マネージメント : プログラム中の備品等の準備、管理責任者

★リーダースタッフ: ボランティアスタッフの皆様には、この役割をお願いしています。

直接子ども達と関わり、体験活動や生活を共に行う。活動を促進し、安全管理、子どもの相談相手、子どもと感動を分かち合う役割。及び、準備・片づけ等の補佐業務。

◆ リーダースタッフは積極的に行動を

・ 援助的質問など

子どもが理解していなかったり、勘違いしている時、ディレクターが説明し忘れたこと等に気付いた場合は、わざと質問をして子どもたちがはっきりわかるように促してあげましょう。

・ 声かけなど

ディレクターの指示などを声掛け風に復唱してあげましょう。進行スタッフの話を静かに聞くためや危険に対する注意の声かけは最も重要です。わかっている、再度声かけをしてあげてください。

・ 子どもより早く

食事の後片付け、活動を始める時等、進行表に沿っての活動がしやすいよう、子どもよりも少しだけ早い行動を心がけましょう。自分自身が次の活動の準備を先々に行うことはもちろん、子ども達に告知する等心がけましょう。

・ 雰囲気づくり

活動のやる気にあふれる雰囲気をつくりましょう。

・ キャンプネームについて

活動ではキャンプネーム（参加者に呼んでいただく愛称）をご自身でつけ、名札に記入していただきます。スタッフに親近感を持ってもらい、また、一緒に活動をする上で心強い相談者になりやすくするためです。ぜひ、親しみやすく呼びやすいキャンプネームをお考え下さい。（どうしても愛称が思い当たら

ない方はお名前でも結構です。宗教的要素のあるものや、イメージが悪いものはお避け下さい。)

- ・ **活動中の発言についてのご注意**

子どもたちの家庭環境は様々です。発言については配慮をお願いします。私たちは子どもたちには「お父さん」「お母さん」を使わず、「お家の人」又は「お家の大人の人」といった表現をつかっています。

- ◆ **子どものルール**

- ・ **持ち込み禁止**

コンピューターゲーム類、携帯電話などの通信機器、マンガ・雑誌、ウォークマン・MD プレイヤー類、マッチ、ライター、カードゲーム類。 ※トランプなどのカードゲームも禁止しています。

- ・ **貴重品について**

カメラ、時計、おこづかい等の貴重品管理は基本的に子どもの自己管理。どうしても管理に自信のない子どもは、そのプログラムの担当スタッフに預ける。

- ・ **靴について**

脱いだ靴は必ず揃えておく。

- ・ **おやつについて**

おやつは棒つきキャンディー、ガムは禁止ですので、スタッフのみなさんも持ってこられないようお願いいたします。おやつは基本的に休憩の時間などの時間、ディレクターが了解した時間のみ食べていいことになっています。食事が食べられなくなるような時間帯や量を避けるように注意しています。

- ・ **買い食いについて**

送迎中停車地における買い食いは禁止。

- ・ **施設について**

事務室には立ち入り禁止、その他倉庫、地域総合センター1階のデイサービスセンター等は立ち入り禁止です。1階でも食堂の調理室や手洗い場、トイレについては使ってもいい場合があります。

- ◆ **ボランティアスタッフのルール**

- ・ **宿泊**

リーダーは基本的に子どもと同じ部屋に泊まります。緊急時のために、具合の悪い子どもの寝ている場所を把握するようお願いいたします。起床時間までは早く起きても自分の寝ているところで静かにしていることがルールです。(ただし、起床時間の30分前に図書室を開放しているので、図書室で過ごす事も可能な場合がありますが、毎日就寝前に確認します)

- ・ **食事**

参加者に準じます。また、活動開始から終了まで、飲酒はできません。

- ・ **備品の貸与について**

子どもたちや部外者から見て、指導者がはっきり認識できるように、子どもの引率時からスタッフウェアをご用意します。着用の不都合がある方はご相談ください。場合に応じて、救急セット等も貸与します。職員も返却の促しを忘れる場合がありますので、返却への留意をお願いします。

- ◆ **ボランティアスタッフの心得**

- ・ **自分から楽しむ**

スタッフも楽しまなければ子ども達を楽しませることはできません。面白い遊びを思いついたら子どもを巻き込んで仕掛けてください。(ただし、活動の主旨にあったもののみでお願いします)

- ・ **自分の気持ちに正直に**

子ども達に対してむやみに「いい人」でいる必要はありません。楽しいときには笑い、嫌なときには嫌だ

と言って下さって結構です。叱ることも時には必要です。ご自身の体調が悪くなったり、活動が無理だと思われた時は職員に伝えるようにしてください。

- ・ **多くの人と関わりをもつ**

可能な限り多くの参加者と関わりをもち、声をかけるようにしてください。そして子ども以外にも、スタッフ同士の関わりも大切です。

- ・ **スタッフが一箇所に集中しない**

スタッフ同士で声を掛け合い、スタッフの手が足りていないところに動くようにしましょう。その為に、全体の動きに気を配ってください。

- ・ **受け持ちグループの人数確認**

食事のとき、出かけるとき、場面が変わるときには必ず人数確認をしてください。人数が足りなければリーダーはディレクターに連絡して、いない子どもを捜してください。全員揃ってからディレクターがその場を動かし始めます。

- ・ **心はHOTに頭はCOOLに**

大人も子どもも本気で遊ぶのが自然学校流ですが、遊びの中でもスタッフとしての役割を忘れてはいけません。頭のどこかで危機管理や時間の管理を心がけましょう。

- ・ **子どもの立場で考えてみよう**

子ども達が起こす様々な行動に直面するとき、うまく理解できないことがあります。怒っている時、不機嫌な時、不可解な時、いろんな場面に出会うでしょう。そんな時は自分の価値観で考える事をストップし、話を聞いてあげましょう。

- ・ **子どもの遊ぶ力や自主的活動を信じる**

子どもたちは自然体験プログラムに参加してどのように成長していくのでしょうか。私たちスタッフは、この体験活動後の子どもたちの生活については知る事が出来ません。日常生活に戻った時、子どもたち自身が自主的に行動できることが大切です。声をかけるにしても、その場その場をとりつくろうようなものではなく、その子ども自身の本当の力を促進してあげることができているのかと意識するよう心がけてください。

- ◆ **次のような方はお断りしています**

- ・ 参加者やスタッフなど、周囲とコミュニケーションをとる努力が見受けられない方
- ・ 活動中に営利及び特定の思想信条による勧誘行為もしくは物販行為が見受けられる方
- ・ 守秘義務を果たせない方
- ・ 当団体に不利益をもたらす行為が見受けられる方
- ・ 反社会的行動が見受けられる方
- ・ 暴力団員とその関係者

※ボランティア活動中に上記の行動が著しい場合は、活動を中断し今後のご参加をお断りさせていただく場合もございますのでご了解ください。

- ◆ **注意事項**

- <個人情報について>**

- ・ **ボランティア自身の個人情報について**：キャンプ中に仲良くなると、子どもがプライベートでも交流を求めてくる場合があります。その場合は、子どもたちには、大杉谷自然学校の住所に手紙を出したら届くからと伝え、住所や連絡先を交換しないようご注意ください。また、名刺等を子どもに配ることもお控え下さい。
- ・ **参加者の個人情報について**：参加者について把握するために、参加者名簿等を配布する場合があります

す。参加者の個人情報外部に流出することのないよう、書類を置き去りにしたり、落としたり、失くしたりしないように各個人で適切な管理をお願いいたします。最終日に回収するよう心掛けていますが、回収されなかったものに関しては破棄をお願いします。

<活動写真類について>

- ・ 活動中はご自身のカメラで写真、動画とも撮影いただく事はできませんのでご了解ください。ただし、ボランティア活動写真が所属先（学校や職場）で必要な場合は事前にご連絡ください。こちらでご本人が入った写真を撮影し、お渡しします。
- ・ 当日の活動がマスコミ関係（新聞、テレビ等）に取材される可能性があります。また、活動中、大杉谷自然学校で写真等の記録を行います。その写真を活動報告または今後の広報活動や活動紹介に使用させていただく場合がありますので、予めご了解ください。公開が不都合な方は必ず事前にお申し出下さい。

<病気・ケガについて>

- ・ 万が一、活動中にケガが発生した場合、擦り傷や切り傷などの軽い症状には、予め準備している救急セットや常備薬で対応します。
- ・ 常備薬で対応できない判断に至った場合は、診察のため病院に搬送する場合があります。
- ・ 安全については万全を期しますが、野外で実施する活動の性質上、傷や捻挫など軽度のケガを負う場合があります。この点につきましては予めご了承下さい。

<傷害保険加入について>

- ・ 大杉谷自然学校では傷害保険に加入しています。万が一の怪我については加入保険内で対応させていただくことになります。ご了承ください。
- ・ 傷害保険は急激性、偶然性、外来性がある怪我にのみ適応されます。よって、アレルギーや病気、一部虫さされ等については保険適応外となります。

「CONE 野外活動保険」 取り扱い：AIG 保険会社 ※年度毎加入制(4月～翌年3月)

種類	保険金額
死亡・後遺障害	1,000 万円
入院保険金額	日額 10,000 円
手術保険金	入院保険金額の 10・20・40 倍
通院保険金額	日額 6,000 円

◆ 大杉谷自然学校との連絡について

ボランティア情報（募集・採用・事業の諸連絡）は、メールでご案内させていただいています。下記連絡先は事務所の空いている時間（月～金曜日 10:00～17:00）のみ、ご利用いただけます。それ以外の日時は、メールも含め対応できませんので、ご注意ください。土日の活動の緊急連絡等は、メールでご案内するスタッフ携帯までご連絡ください。

<NPO 法人 大杉谷自然学校 連絡先>

〒519-2633 三重県多気郡大台町久豆 199 TEL：0598-78-8888 FAX：0598-78-8889

E-mail：v@osugidani.jp（ボランティア専用）

◆ その他

活動の上でお気づきになった点など、ぜひお教えください。より良きスタッフ活動を継続するため、皆様のお声を可能な限り反映していきたいと思っております。